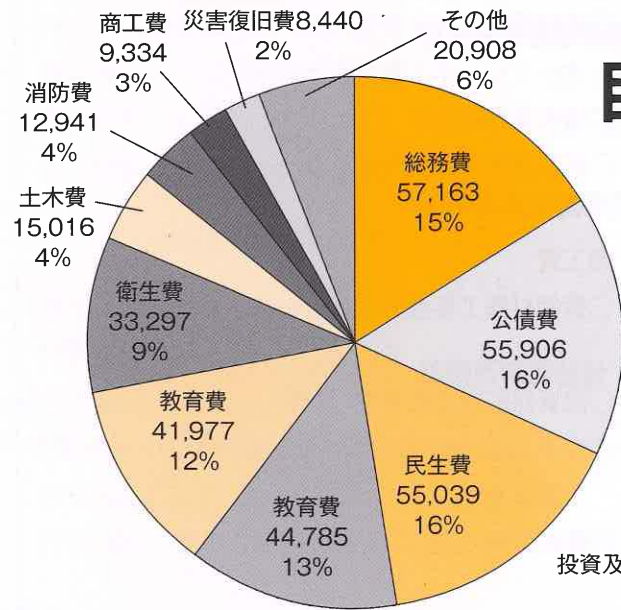


一般会計歳出 35 億 4,806 万円 (1.6%)

() は前年度比

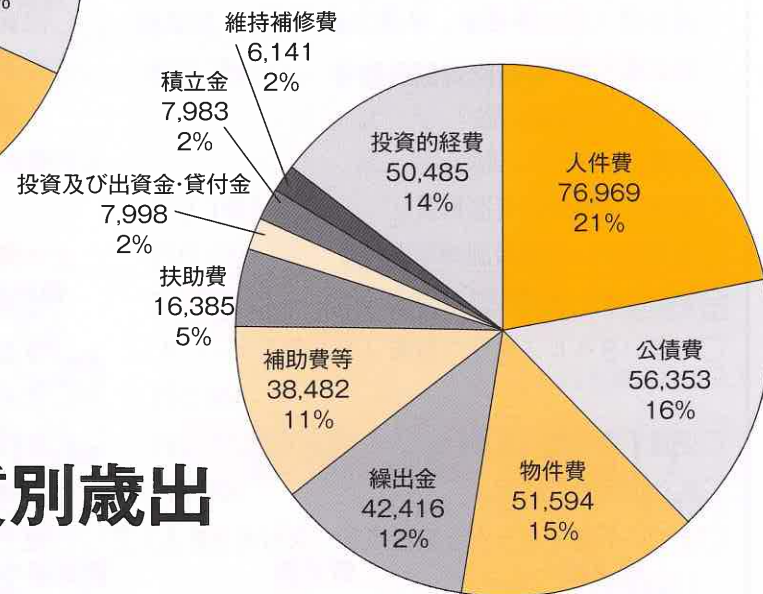
目的別歳出



単位：万円

※目的別・性質別で公債費が違うのは、地域総合整備資金貸付事業債を目的別では商工費に計上しているためです。

性質別歳出



扶助費が増加したためです。

一方、投資的経費は5億4,850万円、うち普通建設事業費が4億2,046万円、前年度に比べ29.99万円(7.7%)の増となりました。

また、災害復旧事業費は8,440万円、前年度に比べ11,266万円(15.4%)の増となっています。

経常収支比率

財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度に比べ0.4ポイント低い84.2%となっており、引き続き経常的経費の抑制に取り組む必要があります。

起債制限比率

地方債の許可について一定の制限を受ける起債制限比率は7.6%で、前年度に比べ0.3ポイント低くなっています。この数字が13%以上の団体は、地方債許可の制限および公債費負担適正化計画の策定等を要しますが、村では良質債の借入れに努めており、概ね

長期的配慮のもと健全な財政運営を執行しているといえます。

村債現在高

平成18年度末の現在高は50億6,637万円、前年度に比べ2億5,411万円(3.9%)の減となっています。これは、臨時財政対策債が増加した反面、過疎対策事業債、辺地対策事業債、一般廃棄物処理事業債、臨時地方道整備事業債、一般公共事業債等が減少したことによるものです。

積立金現在高

平成18年度末の現在高は22億9,906万円、前年度末に比べ5,311万円(0.2%)の減となっています。これは、公共施設等整備基金、さわやか基金等が増加した反面、農村楽園基金、スポーツ振興基金等が減少したことによるものです。

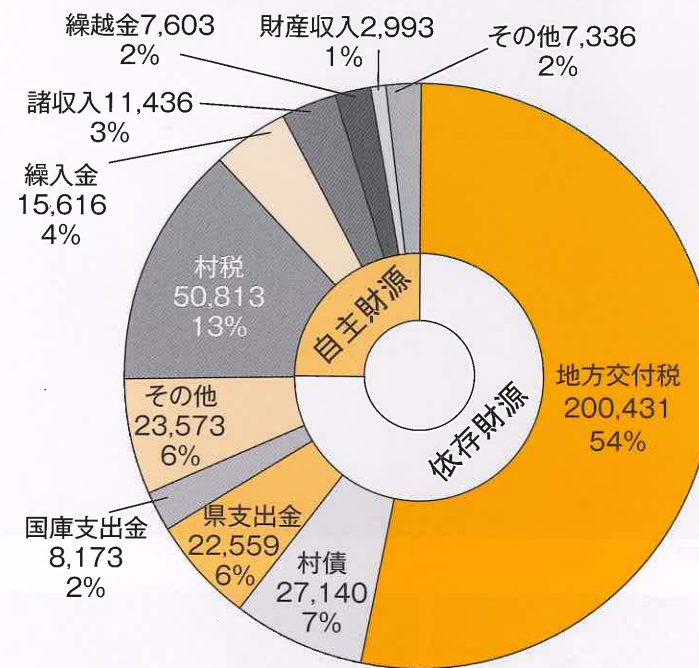
※財政用語の解説については7ページをご覧ください。

一般会計歳出は35億4,806万円

平成18年度 飯舘村決算公表

一般会計歳入 37 億 7,673 万円 (3.7%)

() は前年度比



単位：万円

村の平成18年度各会計の決算がまとまり、9月議会定例会で承認されました。平成18年度の村財政の動きと、一般会計の主な内容等をご報告します。

歳入歳出総額

歳入総額37億7,673万円、歳出総額35億4,806万円、差し引き2億2,867万円の黒字決算となりました。これを前年度に比べると、歳入が1億3,458万円(3.7%)の増額、歳出も5,595万円(1.6%)の増額です。

歳入については、元氣な

地域づくり交付金(国庫支出金)、携帯電話不通話地域解消事業による県支出金、村債などが減少した反面、村民税や地方譲与税、地方交付税が増加しました。

歳出については、携帯電話不通話地域解消事業や飯舘小学校環境整備事業などが減少した反面、児童手当や子育て子育てクーポン交付事業、スクールバス購入事業、災害復旧事業などが増加しました。

村税

前年度に比べ2,505万円(5.2%)増の5億8,131万円。村税全体の徴収率は過年度・現年度課税分合わせて89.8%で、前年度を0.1ポイント上回りました。

自主財源

9億5,797万円で歳入全体の25.4%、前年度と比べて1億9,766万円(20.9%)の増となりました。

歳出

目的別に見ると、総務費が5億7,163万円で16.1%を占め、次いで公債費・民生費、教育費、農林水産業費と続いています。

また、性質別で見ると、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は14億9,707万円で、前年度に比べ3,039万円(2.1%)の増となっています。これは、退職手当等負担金、公債費、子育てクーポン交付事業などにより

います。これは、繰越金や分担金・負担金等が減少した反面、村税や繰入金等が増加したためです。

依存財源

28億1,876万円で、歳入全体に占める割合は74.6%、前年度に比べて2,482万円(0.9%)の増となっています。これは、県支出金や村債が減少した反面、国庫支出金や地方交付税等が増加したことによるものです。

【財政用語の解説】

自主財源

地方公共団体が自主的に収入できる財源で、村税等が該当します。自主財源のその他は、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入が含まれています。

依存財源

国庫支出金のように、国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。依存財源には、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方債などが含まれます。

目的別歳出

歳出を行政目的によって分類したもので、村の予算区分です。

性質別歳出

性質別とは、歳出を経済的性質によって分類したものです。

経常収支比率

その団体の財政構造の弾力性を示す比率として使われます。この比率は、一般的には都市では75%、町村では70%程度が適当と考えられ、それぞれ5%を超えるとその地方公共団体は弾力性を失いつつあると考えられます。

起債制限比率

自治体の収入に対する借金返済の負担を示すもので、総務省が地方債の発行を許可する際の基準となります。20%を超すと総務省が起債を制限します。低いほど政策的に使えるお金が多くなります。

地方交付税

所得税など国税の一定の割合を、全国の市町村の実情に応じて国から配分される交付金です。

村税

村民から直接村に納入される税金（村民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、特別土地保有税）です。

国庫支出金

分野ごとに一定の補助率で国から交付される助成金です。

県支出金

分野ごとに一定の補助率で県から交付される助成金です。

繰入金

基金（村の貯金）や他の会計から繰り入れられるお金です。

財産収入

村の有する財産（公有財産、物品、債権、基金）に係る貸付や交換または売却による現金収入です。

諸収入

他の科目に含まれない収入をまとめたもの（延滞金、加算金および過料、貸付金元利収入、受託事業収入など）です。

村債

村が事業を行う場合に、国などから借りるお金です。期間を定めて返済します。

【各会計の決算状況】

国民健康保険特別会計事業勘定

歳入 8億 8,417万円 (1.2%)
歳出 8億 2,834万円 (2.4%)

国民健康保険特別会計診療勘定

歳入 9,785万円 (△6.7%)
歳出 9,773万円 (△6.2%)

診療所特別会計

歳入 9,566万円 (△1.6%)
歳出 9,504万円 (△1.5%)

簡易水道特別会計

歳入 1億6,919万円 (△0.2%)
歳出 1億6,872万円 (△0.4%)

老人保健特別会計

歳入 6億7,240万円 (△5.1%)
歳出 6億7,240万円 (△5.1%)

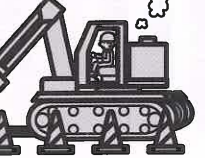
農業集落排水特別会計

歳入 7,733万円 (△3.5%)
歳出 7,689万円 (△3.9%)

介護保険特別会計

歳入 4億3,598万円 (4.6%)
歳出 4億3,520万円 (7.4%)

※ ()内は前年度比

総務費  村全般の管理や企画調整などに 8万 7,807 円			村民一人当たりに使われたお金 (1円未満四捨五入) 総額 54万5,017円 (目的・性質別歳出 普通会計)		
農林水産業費  農業水産業の振興に 6万 4,482 円	衛生費  清掃、予防衛生に 5万 1,148 円	民生費  福祉の増進のために 8万 4,546 円			
消防費  消防・防災のために 1万 9,879 円	土木費  道路や橋の整備に 2万 3,066 円	商工費  商工業の振興に 1万 4,337 円			
その他  災害復旧、議会、各種補助等に 4万 5,081 円	公債費  借入金の返済に 8万 5,877 円	教育費  学校教育の充実に 6万 8,794 円			

平成18年度(目的別)歳出の主な内容

総務費

○立村 50 周年記念事業 (10 年後の手紙、オーケストラ公演など) 298 万円
○立村 50 周年記念事業 (記念要覧発行、50 周年記念祭、記念事業など) 237 万円
○地域づくり推進事業 (やるきつながりプラン補助金) 1,006 万円
○地方バス路線維持対策費 907 万円
○選挙費 (県知事選挙、県議会議員選挙、参議院議員補欠選挙) 947 万円

民生費

○重度心身障がい者医療費 1,651 万円
○身体障がい者施設訓練等支援費 1,019 万円
○知的障がい者施設訓練等支援費 2,640 万円
○いきいきヘルスクラブ事業 (ミニデイサービス) 548 万円
○児童手当 (延べ 8,258 人) 5,279 万円
○乳幼児医療費扶助 949 万円
○までい子育てクーポン交付事業 (交付者 203 人) 1,013 万円
○保育所運営事業 (平均入所 40 人) 6,444 万円

衛生費

○成人病健診 (基本健診 1,776 人) 2,790 万円
○妊婦健診助成事業 64 万円
○合併処理浄化槽設置整備事業 (16 基) 856 万円
○南相馬市浄化センター負担金 4,256 万円
○資源回収奨励金 (27 団体) 365 万円
○焼却施設炉内耐火材修繕工事 301 万円
○焼却施設バグフィルターろ布交換修繕工事 445 万円

農林水産業費

○中山間地域等直接支払事業 6,472 万円
○中山間地域総合整備事業 (大西壇ノ原線ほか) 3,030 万円

○森林環境交付金事業 (あいの沢遊歩道、ベンチ・テーブル、木工教室など) 496 万円
○公有林造林事業 515 万円
○民家園茅葺屋根改修工事 499 万円

商工費

○飯館村商工業振興資金融資利子補給事業 (17 件) 56 万円
○融資保証料助成事業 (8 件) 164 万円
○企業立地支援事業 (ハヤシ製作所、トモト電子工業ほか) 3,328 万円
○愛の俳句と美しい村づくり発信事業 835 万円

土木費

○村道維持補修工事 (9 ヲ所) 1,401 万円
○村道除雪対策費 (出動 1 回) 709 万円
○大火比曽線道路改良舗装工事 3,026 万円
○深谷飯桶線道路改良舗装工事 2,447 万円
○松塚モミノ木線局部改良舗装工事 828 万円
○滝下川改修工事 199 万円

消防費

○広域市町村圏組合負担金 1 億 463 万円
○女性消防隊消防操法全国大会出場準備 (小型ポンプ 1 台、制服など) 107 万円

教育費

○奨学資金貸付事業 (新規 24 人、継続 26 人) 2,298 万円
○スクールバス購入 (1 台) 1,470 万円
○草野小アスベスト除去工事 315 万円
○白石小プール修繕工事 241 万円
○飯館中体育館屋根舗装工事 343 万円
○飯館中体育館・渡り廊下修繕工事 236 万円
○飯館中浄化槽回転円盤修繕工事 336 万円
○海洋アドベンチャースクール (79 人) 453 万円
○柔剣道場屋根・管理室外部補修工事 230 万円